

トピックス **ぶらす**

1/31

登米市にある地元の魅力を再発見

自然環境の再生やその利用方法について考える「自然あるもの探しシンポジウム」が1月31日、市迫公民館で開催されました。シンポジウムでは、元水俣市長の吉井正澄さんまさずみや里地ネットワークの竹田純一さんじゅんいちによる基調講演や、自然活動団体の代表者によるパネルディスカッションが行われ、市の自然環境や魅力について意見を交わしました。



▲自然の再生と共存について講演する吉井講師

2/3

伝統的な曲を歌唱～民謡に親しもう～

市立東和中学校で2月3日、民謡歌唱講座が開催され、3年生58人が民謡に挑戦しました。これは、民謡を通して地域の文化を知ってもらおうと、学校支援地域本部と学校が連携し実施したもので、南方町の佐藤寛一さんかんいちと門下生を講師に招き、「さんさ時雨」や地元の「嵯峨立甚句」などについて、歌詞の意味や民謡の歌い方などを学びました。



▲太鼓・尺八・三味線の伴奏に合わせ民謡にチャレンジ

2/3～4

丹精込めた加工品が一堂に

地元の農産物を使ったアイデア料理や、加工品が一堂に集う展示会「中田町農産加工作品展示会」が2月3～4日の2日間、中田農村環境改善センターで開催されました。展示会には、5部門に地区内の農産加工クラブ員97人が173点を出品。参加者は作品の試食や、レシピ説明などを通して加工技術や味付けなどを学び合いました。



▲工夫が凝らされた作品が数多く出品されました

2/10

さらなるスポーツの振興に向けて

スポーツ指導者の資質の向上と、指導者の連携を深めることを目的に2月10日、市登米公民館で体育協会のブロック研修会が開催されました。当日は、研修会に先立ち体育協会長が団体の役員や選手に感謝状・表彰状を贈呈。その後、AEDの使用法の説明や実技講習、各協会の事例発表などが行われ、大変有意義な研修会となりました。



▲長年の功勞に対して、佐々木会長が感謝状を贈呈

豊里で心の講演会
心の寂しさやサインに気付く

引きこもりやアルコール依存症、うつなどの心の問題の原因を知り、家族や地域の理解を深めようと2月16日、「豊里心の講演会」が豊里健康管理センターを会場に開催され、区長や民生委員、保健活動推進員など40人が参加しました。講演会では、石巻市で家族機能相談室を開いている小山勝己さんかつみを講師に招き、「心が健康になるために」と題した講話が行われ、「うつやアルコール依存症などの心の問題は、子どものころの寂しさから発生します」といった講話の内容に、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲心の病気の症状や予防法について説明する小山講師



▲各支部ごとの取り組みや課題について意見が交わされました

納税意識の向上に向けて
納税貯蓄連合会石越支部組合長研修会

地区内の納税貯蓄組合が連携し、税の正しい理解や納税意識の向上を目的に、登米市納税貯蓄組合連合会石越支部組合長研修会が1月22日、石越総合支所多目的ホールを会場に開催されました。当日は地区内29支部中、21支部の組合長が参加し、市税の収納状況や平成22年度の税制改正の概要などについて、市担当者から説明を受け、改めて納税組合長の役割と意義を認識しました。最後に行われたグループ討議では、地区組合の規約や納税状況、収納方法などについて情報交換を行い、有意義な研修となりました。

スキーを通して友情を育む
迫・米山・南方3地区体育協会スポーツ大会

オニコウバスキー場を会場に2月7日、市3地区体育協会スポーツ教室（迫・米山・南方地区体育協会主催）が開催されました。教室には小中学生36人が参加しスキーにチャレンジ。「スキーは初めて」という子どもも多くいましたが、迫スキークラブの皆さんから一人一人丁寧な指導を受け、グレンデに慣れてくると、最初は怖がっていた子どもたちも、後半は笑顔でスキーを楽しんでいました。参加した子どもたちは、「また来たい」「とても楽しかった」など、雪山を満喫したようでした。



▲参加した子どもたちは、大勢の仲間と共にスキーを楽しみました